



宮西マリアさん

ブラジル出身の宮西さんは来日して25年。日本語とポルトガル語を話せる特長を生かし、市の交通安全教育指導員として活動していただいています。

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

- CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。  
日時：5月1日～31日  
月水金日 9：30・20：30  
火木土 12：30・20：30
- CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。  
日時：5月13日・27日  
8：54・14：54

交通安全教育指導員になったきっかけ

交通安全教育指導員になったのは10年前です。当時は外国人の犯罪が問題になっていて、四日市南警察署協議会に入っていました。外国人・日本人双方の立場から力になりたいと考えていたからです。

そんな時、ポルトガル語と日本語を話せることから、交通安全教育指導員をやってみないかと声を掛けられ、ぜひやってみたいと思ったんです。

研修を受け、活動を開始

指導員として活動するに当たり、まずは研修を受けました。講義を受けたり、他市の交通安全教室を視察したりしました。講義の内容が難しいときは、ボイスレコーダーで録音して、自宅で繰り返し聞きました。

半年程度の研修を経て、指導員としての活動が始まりました。現在は、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校、老人会の集まりなどに出向き、交通安全教室を開催しています。



時期によっては忙しい。でも充実しています

指導員の活動は、時期によってはとても忙しくなります。例えば、子どもは小学校に上がると、一人で道路を歩くようになります。その前の12月から3月にかけては、保育園や幼稚園で交通安全教室を開催することが多くなります。また、ポルトガル語が必要な場合は、必ず行くことにしています。

週に何度も教室を開催することもあり、大変なこともあります。子どもたちの反応をじかに感じるができるので、とても楽しく、充実しています。



腹話術や紙芝居、パネルなどを使って分かりやすく説明します

これからも続けていきたい

日本は交通マナーが良く、交通事故も少ない方だと思います。せっかく安全なまちに住んでいるのですから、子どもたちには意識を高く持って、交通ルールを守ってほしいですね。そのことを伝えていくためにも、指導員の活動を続けていきたいと考えています。

～地域とともに160有余年 事前のご相談から至急のご依頼まで 葬儀のことなら24時間365日～

有料広告掲載欄

株式会社 ふじや本店  
光倫会館

経済産業大臣認可  
全葬連

0120 FreeDial 0120-114248

- 本社／四日市光倫会館  
〒510-0836 四日市市松本町北大谷 2015  
[TEL] 059-351-1151 [FAX] 059-351-4224
- 光倫会館 桜ホール  
〒512-1211 四日市市桜町 6613  
[TEL] 059-325-2482 [FAX] 059-325-2483
- 富田光倫会館  
〒510-8014 四日市市富田2丁目 3-7  
[TEL] 059-361-2481 [FAX] 059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。